
すべては夢よ、のう。

山之口 博道

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

すべては夢よ、のう。

【Nコード】

N6491J

【作者名】

山之口 博道

【あらすじ】

中国の古いお話です。

「振り返り見れば昨日の心地して夢の八十路を辿り来しかな。」

この古歌のごとく、我らの人生もまるで昨日のこのように、思われて実はもう80年も過ぎてしまったのだなあ。

という心境だろうか？

まさに黄粱一炊の夢である。

中国はその昔、片田舎に立身出世を抱く血気あふれる青年が居た。

ある日青雲の志を抱いて一躍、都へと、向かってふるさとを後にしたという。

途中、ある宿場に差し掛かったとき、ふと茶屋の店先に、老人が座って、ひょうたんを磨いている。

何だろうと思って立ち寄ると、ひょうたんの中に全宇宙があるという。

覗いてみると何も見えない。

心が曇って折るから何も見えんのじゃよ。

と、老人は呵呵大笑した。

そして青年は自分の野望を熱っぽく老人に語ったのである。

これから都に上り、どこかの大官に仕官し、そこで忠節を尽くして
大出世したいのだと。

「出世かね？わしも若い頃は憧れたもんじゃよ。

でもこれこの通り。今は田舎のじいじやよ。

若い衆、ここに陶の枕がある。

これで一眠りしてみなされ。

これで夢を見るとそなたの将来が全部透けて見えるというのじゃ。
どうかな？」

青年は長道中で疲れていたしここらで一休みもよいかなと考え其の
枕を借りて

店先で休むこととした。

老人は其のときまさに、

庭先のかまどで黄梁を釜に入れてむしはじめていたところだった。

さて枕を借りて横になるとたちまち青年は深い眠りに落ちた、
というか青年は其の茶店を出立して都に登ったと信じきっていたの
だ。

都に上ると青年はさる武官に仕官して
各地の戦争に参加し武勲を挙げてたちまち、大将になった。
そしてさる大家の姫宮と婚約し、
其の国の列候にまで上り詰めたのであった。

しかし、やがて、其の實力を王にねたまれ王位を取られるのではないかと疑われ、

官位は没収たちまち俘囚の憂き目になったのである。

妻子は匈奴の地に追放され生死も不明となり、

自分は獄中に虜である、

ところが折から黄巾族の反乱が巻き起こり、王は家臣も捨てて華南に逃れて無政府状態。

其のとき獄にあったこの男に国を指揮してほしいとの民草の囑望がもたらされた、

一躍、其の国の王位に就いたこの男はそれまでの武勲にもとらない功績を挙げてみごと、黄巾族の反乱を鎮圧したのであった。

そして国民から押されて新しい王に推挙されたのである。

さらに嬉しいことに匈奴の元で行方不明だった妻子も無事と分かり、王の下に返り

久方ぶりの対面に手に手を取り合って、喜んだのである。

こうして新しく王になった治世は徳政の誉れ高く続けられ、王は栄耀栄華の限りを尽くしたのであった。

宮中には大棲がそびえたち、

金蔵には

金銀宝石は山のように収蔵されて。

家臣数千人が衛視として警護し、

きらびやかな宮廷婦人が舞を舞い

後宮の美女3000人、

酒はあふれ、肉は盛られ

この国は栄えたのであった。

しかし、

やがて王にも、老衰の影が訪れていた。

国内はもとより遠く蓬萊国まで使者を使わして不老不死の妙薬を求めさせたが

どれもこれも効果はなかった。

すべての甲斐もなく、

気力の衰えた老王は立派に成長した息子たちに

王位を譲ると、ほどなくして、妻妾の涙に囲まれてこの世を去ったのである。

すると、「こけっこっここう」と鶏の声がして青年はふと目が覚めた。

なんと見回せば、あの茶店の前の縁台で寝ていたのである。

何だすべて夢だったのか、と、

ふと眼をやると、

確か自分が寝入る前に炊き始めた黄粱の飯はまだ湯気が噴き出しながら炊けている途中だったのである。

青年はふと悟るところが合った。

俺の全人生なんて何だったんだろう？、

黄梁飯の炊ける間の一瞬よりも短いものですらなかったのかと。

夢のごとき人生、

出世も、名利も、王の位も、美女も、金銀財宝も
なんとむなしいことが、

そしてそれを求める自分もまたなんとむなしいのだろうか。

茶店の老人は

「どうじゃな？

いい夢が見られましたかな？
人生なんて、どうでしょう？

この黄梁飯の炊ける間の

一瞬の夢のごときものでしょうかのう？」

といって青年に語りかける。

青年はそれから都へ行くことを取りやめて、
田舎に帰り、

先祖伝来の痩せ畑をひたすら耕して、
貧しい一百姓として一生を終えたという。

富貴を極めるも一生

貧賤にまみれるのも一生。

富貴即貧賤。

煩惱即菩提

生死即無常

江は緑に

山青くして

花、將に燃えんとす。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6491j/>

すべては夢よ、のう。

2010年10月28日04時34分発行